

市長レポート No.70

長走風穴・芝谷地 植物群落の整備



これまで、天然記念物のなかでも植物などの保護、保存策は、人の手を加えず自然の変化、変貌に任せるというものでしたが、文化庁では天然記念物の有効な利活用を図って、その過程において保護の思想を普及しようという「天然記念物整備活用事業」(エコ・ミュージアム)構想を打ち出しました。

市には国の天然記念物に指定されている「長走風穴高山植物群落」と「芝谷地湿原植物群落」があります。どちらも学術上大変貴重なだけでなく、素晴らしい自然だと思います。私たちは、祖先から受け継いだ大切な自然を、その価値を損なうことなく後世に引き継がなければなりません。同時に、エコ・ミュージアム構想に示されるように、自然を壊すことなく保護、保存に手を加え、だれもがその場所で、身近に天然記念物に接してその価値を理解し、自然の素晴らしさ、驚異、感動を味わえるようにすることも大切だと考えています。

6月定例市議会に2つの植物群落の整備基本構想作成のための予算を計上しました。今後文化庁、県と調整を進めながら、7年度の「天然記念物整備活用事業」採択実現にむけて努力します。また、2つの植物群落の整備が、市の観光スポットの開発、活性化につながって欲しいと考えています。

小 畑 元

暴力がない安全な街に

県警察本部、(財)暴力団壊滅秋田県民会議では、暴力がなく安心して生活できる社会を実現するために、暴力団の壊滅事業に力を入れています。

暴力団をなくすには、「恐れない、利用しない、金を出さない」ことが大切です。

暴力団を社会から排除し平和で明るく住みよい街を実現するため、第四回「暴力団壊滅秋田県大会」が開催されます。大会当日は、秋田警察音楽隊の先導による暴力追放パレードや講演などが行われ、市民の皆さんの参加をお願いします。

と き・7月15日 13時～15時
と ころ・市民文化会館

被害に遭ったら 必ず届け出を

暴力団員による不当な暴力行為としては、次のようなことが挙げられます。

- ・商品の欠陥などをネタに損害賠償を要求する
- ・口止め料として金品を要求する
- ・寄付金や賛助金などを要求する

- ・縄張り内の営業者に「あいさつ料」を要求する
- ・利息制限法に違反する高金利の債券を取り立てる
- ・交通事故などの示談に介入して金品を要求する
- ・不当な地上げをする
- ・不当な貸し付けを要求する

これらの被害に遭った時は、泣き寝入りせず必ず警察に届け出てください。また、暴力団に民事訴訟の仲介や用心棒を頼んでお金を払ったり暴力団から物を買ったりすることは、暴力団に資金を供給することになりますので、絶対にしないでください。

暴力団を恐れてはいけません。市民みんなが手をつなぎ、暴力を許さぬ勇気をもって安全で住みよい街をつくりましょう。

福祉タクシー

移送サービス事業開始

市では、七月一日から、在宅の高齢者や障害者の経済的負担を軽減するとともに、日常生活の利便を図り、高齢者及び障害者の福祉の向上を図るため移送サービス(移送費給付)事業を始めます。

移送サービス(移送費給付)事業は、通院及び福祉制度の利用、申請等で医療機関や公的機関へ行くために福祉タクシーを利用する場合、そのタクシー料金の一部を助成するものです。

給付の対象は、大館市に住所があり、おおむね六十五歳以上で、老衰や心身の障害及び傷病などで床に付いている人、車いすを利用して利用している人、一般の交通手段を利用することが困難な人です。利用券の交付を受けた人は、福祉事務所にある「移送サービス利用券交付申請書」に必要事項を記載して申し込んでください。

利用券は一枚が千円分で、一カ月当たり二枚を、交付が決定した月から当該年度末分まで一括して交付します。ただし、利用券は一回につき一枚しか使用できません。利用の際は券と料金の不足分をタクシーの乗務員へ渡してください。なお、福祉タクシーを利用する



時は、タクシー会社へ直接申し込むこととなります。

利用できるタクシーは、市と契約を結んだタクシー会社の「リフト付き車両」及び「ストレッチャー装着ワゴン車」だけで、現在市内に一台しかありません。

福祉事務所高齢者福祉係
☎49-3111(内線406)